



## テニスネットの捕捉説明

### テニスネットの使用目的

次の項目の内、その用途を明確にして下さい。

- 1 硬式テニス専用 ~センターストラップ、ストラップ埋め金具、(要シングルスティック) 高強度のネット紐で編まれていること
- 2 軟式&硬式テニス兼用 ~上記と同条件、硬式規格に準ずれば耐久性も期待できます。
- 3 軟式テニス専用 ~センターストラップ、ストラップ埋め金具は不要。強度もそれほど必要としません

### テニスネットの取り付け状況

次の内、その取り付け状況を明確に把握して下さい。

- 1 テニス支柱についているネット巻き器の種類 ~a 巻き器が外付け露出のタイプか 硬式用ウオームアップギア式か 軟式用の引っ掛け式か//硬式不可  
b 巻き器が支柱の中に内蔵されているタイプか ~ワイヤ長さを測定、かつ両端をフック加工
- 重要!**
- 2 支柱間の距離 ~正規のコート寸法に対し、適切な位置に埋められているか  
ダブルスコートのサイドラインの間隔は10.97mです。  
テニス支柱の距離は、サイドラインから0.914m外側のはずです。  
それに対し、ネットワイヤーの長さは15m~14.3mです。  
内蔵タイプの支柱の場合、支柱の間隔は12.8m±10cmです  
~原寸を確認いただきませんと長さが余りすぎ、又は不足する事があります。

### テニスネットの選び方 下記の基準でお選び下さい。

#### 1 ネットワイヤーの素材

- a テクノーラ ~アラミド繊維。超高耐久、さびない、切れない、丈夫で軽い!
- b ステンレス ~高耐久、さびない、丈夫です。
- c ダイニーマ (ポリエチレン系) ~軽い、柔らかくさびない。切れにくい。伸び縮み少なく、スチールのようにささくることが全くないから、取り外しが多い場合も安全、但し、使用状況によりスチールよりもたない?支柱の滑車によってはもたない
- d スチール ~重く、さびる。切断の可能性有り。取り外しの時にささくって怪我をする例がある。

#### 2 ネットの素材

- a ナイロン ~性能はポリエステルに酷似。染色性に優れる。伸び易いが、耐候性に優れ、破断強力すごく高い。一番のお奨め
- b ポリエステル ~反発性無く、比重が重いことと単糸の細い関係で摩擦に弱い、高尺の防球ネットには不適切。吸水性なし。伸びにくく破断強力高い。
- c ポリエチレン ~吸水性無く、汚れの付着防止、やや伸びやすい。破断強力高いが、耐候性やや劣る。比重軽く、しかもコストパフォーマンス抜群。防球ネットに
- d ビニロン ~従来の主力素材。耐候性、摩擦強度に優れるが、吸水性が高く、水分による伸縮硬化を起こす性質があるため、使用場所を限定される。伸び率やや高い。